



# 給食だより

令和8年1月



1/24~1/30は  
「全国学校給食週間」です

にほん がっ こう きゅうしょく

## 日本の学校給食のあゆみ

がっ こう きゅうしょく はじ

### 学校給食の始まり

明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなっていました。

おにぎり

や ぎかな

焼き魚

つけもの

漬物

めいじ

(明治22年ごろ)



ごしき

五色ごはん

えいよう

栄養みそ汁

たいしょう

(大正12年ごろ)



し えん ぶつ し がっ こう きゅうしょく さい かい

### 支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。この頃は、牛乳ではなく、脱脂粉乳(ミルク)が出ていました。

ミルク

トマトシチュー

しょうわ

(昭和22年ごろ)



コッパン・ミルク

クジラの竜田揚げ

せん切りキャベツ

しょうわ

(昭和25~30年ごろ)



### バラエティー豊かな献立内容に



昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミートスパゲッティ

ぎゅうにゅう

牛乳・プリン

フレンチサラダ

しょうわ

(昭和40~50年ごろ)



カレーライス

ぎゅうにゅう

牛乳・塩もみ

くだもの

しょうわ

(昭和51年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるように、「教材」としての役割も担っています。